

# 観光振興計画・観光地マスタープラン検討会（第1回）

- 観光振興計画・観光地マスタープランの初回検討会では、倶知安町における観光の現在の課題を抽出。
- 今冬を経ての課題、通年型リゾートを目指すうえでの課題を分野やレベル感に縛られずにざっくばらんに議論。

## ■ 第1回検討会

○日時：平成31年3月8日（金） 15時30分～

○場所：サン・スポーツランドくっちゃん ○参画：各観光関連事業者、倶知安観光協会、ニセコひらふエリアマネジメント



## ■ 議題

◎ 今後に向けた課題抽出（今冬を経て出てきた課題、通年型リゾートに向けてかねがね感じている課題）  
（例）

○かねてからの課題→繁閑差対策、2次交通対策、MICEの方向性打ち出し、交流拠点機能整備など

○情勢変化対応→異なる国々・客層対応、「質」を持続するためのキャパシティコントロール（ゲレンデ容量・開発・交通量）、人手不足対応など

○発展的・戦略的取組→本格的なDMO形成、インバウンド先進地の注目度活用、投資誘導のための景観形成、海外市場の多極化、国内市場の継続的開拓、イベント等閑散期対策の戦略化など



具体例を交えて深掘り

◎ 滞在目的となるライフスタイル、先進的な観光地として目指すべき方向性  
→あるべき倶知安の観光のビジョンへ

# 第1回検討会実施概要・議事要旨

- おおむね新幹線開業までを見据えた倶知安町の観光を考える上で解決すべき様々な課題（交通・駐車場、インフラ、都市計画、環境など）があげられた。今後の検討会では、これらの課題感を解決し、あるべき倶知安町の観光の姿を共有していく。

## ■ 参加者

### ○ 検討会メンバー

- ・吉田聡 吉田聡司法書士事務所
- ・田中義人 ニセコリゾートサービス
- ・岩佐信 SUPER OKUSAN (Chalet IVY)
- ・大久保実 Japan Premium International
- ・釜江良尚 東急リゾートサービス
- ・冨田竜海 Ground Pub Niseko/割烹肴座花鯛/TATSUMI
- ・Chris Pickering HTM
- ・天沼清貴 (一社) 倶知安観光協会
- ・ラメズ麻衣 (一社) 倶知安観光協会
- ・渡辺淳子 グラウビュンデン
- ・大加田正信 (一社) ニセコひらふエリアマネジメント

### ○ 事務局

- ・福家朋裕 倶知安町観光課 観光課長
- ・田中康太 倶知安町観光課 観光係主事
- ・山田雄一 公益財団法人日本交通公社観光政策研究部 部長
- ・守屋邦彦 公益財団法人日本交通公社観光政策研究部 主任研究員
- ・那須將 公益財団法人日本交通公社観光政策研究部 研究員
- ・池知貴大 公益財団法人日本交通公社観光政策研究部 研究員
- ・沼田尚也 倶知安町観光課 観光係長
- ・星加明仁 倶知安町まちづくり新幹線課 まちづくり係長

## ■ 議論要旨

### 【交通・駐車場課題】

- ・今までにない交通渋滞が、クリスマスや年末年始に発生した。その要因としては…
  1. アジア系観光客が増えたことによりレンタカー利用率が高くなったこと
  2. 郊外型のコンドミニウムが増えたことで車でないとアクセスができない宿泊客が増えたことがあげられるのではないか。
- ・現状のルールのままではデベロッパーからすれば駐車場を建設するメリットは薄く、結果として必要な駐車数に対して見合う駐車場を宿泊施設が用意していない。開発許可を出す段階で、しっかりとルールを適用し、併設させるべきではないか。

### 【インフラ・開発・都市計画課題】

- ・上水道に関して、既存の井戸からの供給量を上げない限り、将来供給量が追いつかなくなる。現実的に、ひらふエリアで開発許可が出せなくなるのではないか。
- ・現状は宿泊客数に対するコントロールがなく、何らかの方法でコントロールしていくべきである。方法としては、投資を止めない為にも規制として一気に制限をするのではなく、何らかの形で上限のベッド数等を決める方法がよいのではないか。また、現実として、上水の供給など物理的な制限によって間接的にコントロールをかける方法もあるのではないか。
- ・無電柱化工事や新幹線の工事等の影響で、住宅の需要が非常に高くなり、個人で住宅を借りることが困難になっている。
- ・今後リノベーションが必要となってくるコンドミニウムが多くなっているが、この事業でエリアの価値が上がるようなルールを定めて、リノベーションを望ましい方向へ誘導できないか。

## ■ 議論要旨

### 【環境課題】

- ・宿泊客が増えるにつれて、環境負荷は確実に高まっており、エリア全体での環境対策が必要となる。また、そのような環境対策をマーケティングとして用いることも検討するべきではないか。

### 【マナー関連課題】

- ・ファミリー層のインバウンド客が増えていく中で、安心した滞在環境を提供するためには、アルコールやタバコ等に関して、住民及び観光客に対してルールを教育していくべきではないか。

### 【関連産業の不足、従業員不足、住宅不足課題】

- ・宿泊施設は増えているものの、これに関連した産業（リネンなど）が追い付いていない。
- ・人手不足が深刻である業種が多く、クオリティの高い人材確保が困難。人材面・マンパワー面ともにサービスクオリティの上昇に課題を抱えている。
- ・建設作業員の住宅確保のため、多くの住宅が借り上げられているとともに家賃も高騰し、従業員の負担になるとともに、人材確保面でも障壁となっているのではないか。